

## (公財)新世代研究所 2013 年度事業計画

### 事業及び予算方針

1. 事業及び予算の策定にあたって、寄附金額を 1,000 万円と見込む。
2. ATI 研究助成を含め 2012 年度並みの事業規模とする。
3. 特定資産を取崩し(金額 1,500 万円)、研究助成及び予備的費用に充当する。

### 1. 研究事業

#### (1)研究会—ナノサイエンスの進展—

第VII期(2012-2014 年度)5 研究会第 2 年次の活動を推進する。

- ①界面ナノ科学研究会 (委員長 一杉太郎 氏/東北大学 WPI-AIMR 准教授)
- ②スピントロニクス研究会 (委員長 大谷義近 氏/東京大学物性研究所 教授)
- ③バイオ単分子研究会 (委員長 佐々木裕次 氏/東京大学新領域創成科学研究科 教授)
- ④ナノカーボン研究会 (委員長 齋藤理一郎 氏/東北大学理学研究科 教授)
- ⑤水和ナノ構造研究会 (委員長 田中伊知朗 氏/茨城大学工学部 教授)

\*5 研究会以外に内外からの要請により、臨時の小研究会も検討する。

#### (2)合同研究会—異分野融合の促進—

第 8 回を秋季に行う。

#### (3)ATI 国際フォーラム

財団内からの要請を審議し、国際会議の共催、後援等を行う。(資料②-2 参照)

### 2. ATI 研究助成—新世代を担う若手研究者の育成—

新しい研究領域を切り拓く萌芽的研究を行う 35 歳以下の若手研究者への研究助成事業を継続する。

助成金総額：約¥500 万 (約¥50 万/件、10 件程度)

### 3. ATI 公開フォーラム—最新の科学技術の話題提供—

第 36 回を秋季に開催する。

### 4. 活動成果の公開・発信

- (1)研究報告会の開催および研究報告書の刊行：2012 年度の研究会活動報告
- (2)ATI 公開フォーラム講演録の刊行
- (3)ATI ニュースの刊行

### 5. その他

「5 年後の科学技術」についてのフリーディスカッションの場を企画する。

年間行事の概略日程

時期	行事	時期	行事
4月26日	研究会委員長懇談会	11月	合同研究会 <sup>*)</sup> ATI公開フォーラム
5月 5月9日	(ATI国際フォーラム/ISIC17) 監事会	2月	企画委員会
6月上旬	研究報告会 <sup>*)</sup> 理事会	3月	ATIニュース第16号発行 理事会
6月下旬	評議員会	*合同研究会にて数件の研究助成成果報告を行う。	
7月	ATI研究助成公募		
8月	企画委員会		
9月	ATI研究助成選考委員会 (ATI国際フォーラム/RPGR2013)		
9月下旬	ATIニュース15号発行		

以上